

# 学びや

## ヨイムスリツフ

1945 (昭和20) 年

8月15日の「玉音放送」とその後のニュースなどで、国民に広く敗戦が伝えられました。しかし、戦時中の価値観がすぐに改められたわけはありません。翌16日、京都市の緊急全学校長会議での京都市知事の訓示は、「皇国再建の途は教育にあ

り」とあり、「皇国」とりにするところから、「敗戦によって1日前後の差

という意識は揺るがなかつたのです。

戦時の教育方針が改められたのは、同年9月11日に府から戦時関係訓練令発止の通牒が出されてからです。

それ以上に、特に重要なのは、同日末から連合国軍が進駐を開始したことです。連合国軍といっても、内実

はほとんどアメリカ軍です。進駐軍を目的とした。日教は学

り」とりをするところから、「敗校によって1日前後の差

がありりますが、市内すべ

戦時の教育方針が改められたのは、同年9月11日に府から戦時関係訓練令発止の通牒が出されてからです。

それ以上に、特に重要なのは、同日末から連合国軍が進駐を開始したことです。連合国軍といっても、内実

はほとんどアメリカ軍です。進駐軍を目的とした。日教は学

り」とりをするところから、「敗校によって1日前後の差

からです。

それ以上に、特に重要

な転機となったのは、同日末から連合国軍が進駐を開始したことです。連

合国軍といっても、内実

はほとんどアメリカ軍で

はほとんとアメリカ軍で

禁じた。日教は学

り」とりをするところから、「敗校によって1日前後の差

がありりますが、市内すべ

## 「鬼畜」ではないと「教育」

た写真になりました。

さらにその直後の号では、児童が笑顔で進駐軍と会話している写真(3)になります。このようにして、進駐軍は「鬼畜」ではないと「教育」されていったのです。教科書の軍国主義的なところに墨が塗られていくのは、この後のことでした。

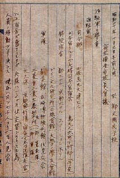


写真1、1945年10月3日以下京区の都立国民学校(当時)で開かれた府主催全市校長会議の資料



写真3、『週刊少国民』(45年10月14・21日号)



写真2、『週刊少国民』(45年9月29日号)

(京都市学校歴史博物館 学芸員 和崎光太郎)



今紹介した資料は学校歴史博物館(下京区)で開催中の企画展「戦争と学校」戦後70年をむかえて」で展示しています(水曜休館)。